

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には、社会教育全般の事務と、文化財関係、青少年問題協議会関係の事務、事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

平成元・10.1 現在

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 団体	ボーイスカウト ガールスカウト 福生市連合育成会	森田 治男	267	名 ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、シニア隊、ローバー隊 福生第1団 訓練活動(キャンプ) 福生第2団 東京191団 奉仕活動、リーダー研修
青年 団体	福生市青年団体 連絡協議会	綿貫 和男	70	加盟団体 6 若い市民の講座、サークル活動補助、 広報活動
婦人 団体	福生第1・第3 生活学校	加藤 寿子 西田 重子	60	福生生活学校(高齢化社会への対応) 青少年問題・ゴミ問題 定例的学習活動、消費者展、発表会
成人 団体	福生市文化連盟	小林 菊三	2,900	加盟団体 77 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生ホテル保護 研究会	中村 一郎	20	上水のホテル及びホテル公園のホテル 保護育成
	福生市公立小中学 校PTA連合会	田村 昌己	世帯 5,458	加盟団体 10 球技大会、講演会、非行防止パトロール
	福生市体育協会	設楽 清一	4,600	加盟団体 16 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育大会 都民体育大会

2. 文 化 祭

第 20 回 福 生 市 民 文 化 祭

(1) 趣 旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場をつくり、今後の発展をはかる。
- ② 未参加者の文化諸活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主 催

福生市・福生市教育委員会・福生市文化連盟

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化連盟役員
- ② 出展、出演団体の代表者
- ③ 教育委員会社会教育課・市民会館・公民館・図書館職員

(4) 期 日

11月3日(金) ・ 4日(土) ・ 5日(日)

11日(土) ・ 12日(日)

(5) 場 所

展示関係 ― 市民会館、公民館、福祉会館、中央図書館

演示関係 ― 市民会館大ホール、小ホール

(6) 運営方針

- ① 同種目については主管団体が処理する。
- ② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、新種目を行う団体は、その団体が主管し、個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ① 市民の活動であること。
- ② 市民を対象とした文化的事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在勤、在学の個人及び団体）とし、一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要項の決定

② 開場式 11月3日(金) 午前9時30分

市民会館 小ホール

③ 準備過程

ア. 広報 (イ) 公募 7月25日 発行(お知らせ)

申込締切り 8月16日

(ロ) 日程内容の周知

・ 広報 10月15日 広報

・ ポスター 10月 1日 200部

・ 日程表の配布 10月中旬 8,000部

(小中学生及び主管団体)

(ハ) プログラムの作成と配布 3,000枚

イ. 案内状 総合プログラムと一緒に実行委員会で送る。主管団体毎の招待は各団体で行う。

ウ. 主管団体必要物品

(イ) 指定様式に記入提出

(ロ) その他の必要品

エ. 役員委嘱

実行委員に委嘱状を交付

オ. 委託料の交付

昨年度に準ずる。

(10) 実行委員会日程

第1回 8月18日(金) 午後7時30分 市民会館4・5集会室

ア. 文化祭実施要項等の確認

イ. 出展・出演関係申込書他手続打合せ

第2回 9月 6日(水) 午後7時30分 展示関係 市民会館4・5集会室

第3回 9月 8日(金) 午後7時30分 演示関係 市民会館4・5集会室

第4回 10月18日(水) 午後7時30分 合同最終 市民会館4・5集会室

(1) 実施内容

平成元年度参加団体	演示	82団体	行政関係	2団体
	展示	57団体	行政関係	5団体、個人9人
	計	155団体、個人		
○期間中の一般観客		延	約6,000人	

3. 成人式

(1) 趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし、成人者が改めて成人する意味・意義を確認し合う場とし、また今後は、社会の担い手として、独立した主体者として生活して行くための機会とする。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会

(3) 期日、場所

平成2年1月15日 開式午前11時00分 福生市民会館大ホール

(4) 実施内容

式 典 開式、君が代、主催者あいさつ

祝辞、来賓紹介、主催者紹介、祝電披露、謝辞、閉式

二 部 囃 子 福生囃子連合会

ブラスバンド 福生市立福生第二中学校ブラスバンド部

成人者	905人	出席者	494人
-----	------	-----	------

男	480人	男	238人
---	------	---	------

女	425人	女	256人
---	------	---	------

出席率	54.6%
-----	-------

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法に基づいて設置された、市民参加の形態であり、当市は、昭和37年以来、任期2年、定数10名で構成されています。各委員は、社会教育全般に亘る調査、研究、計画の立案、教育委員会からの諮問に答える答申を教育長を通じて教育委員会に市民の立場から行う諮問機関です。

(1) 会議開催状況

開催日	会場	会議名	内容
平成元年4月	商工会館 多摩社会教育会館	社会教育委員会議 社会教育委員 連絡協議会	学習会「生涯学習について」 公運審 奥田泰弘氏 ・定期総会及び理事会 昭和63年度事業報告 他
〃 5月	市民体育館	社会教育委員会議	・社会教育関係団体補助金について 他
〃 6月	東京計量検定所	〃	・委員の視察研修
〃 7月	瑞穂町民会館	社会教育委員 連絡協議会	・第1ブロック研究会準備会 研修会の日程について
〃 7月	秋川市中央公民館	〃	・理事会 ブロック研修、全体研修について
〃 7月	市民体育館	社会教育委員会議	学習会「生涯学習について」公運審 杉山行男氏
〃 8月	瑞穂町民会館	社会教育委員 連絡協議会	・第1ブロック研修会 テーマ「社会教育の諸条件を整えるため に」
〃 10月	市民体育館	社会教育委員会議	・第1ブロック研修会報告 他
〃 11月	秋川キララホール	社会教育委員 連絡協議会	・全体研修会 テーマ「市民の生涯学習と社会教育」 (地域の学習要求に対応した条件整備とは)
〃 11月	長野県茅野市	社会教育委員会議	・茅野市「生涯学習センター」視察
〃 12月	市民体育館	〃	平成2年度社会教育計画について
平成2年2月	〃	〃	平成2年度視察 研修について
〃 3月	日の出町役場	〃	学習会「生涯学習振興のための構想について」

5. 文化財保護事業

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができる。本市では、昭和48年に文化財保護条例の制定、そして昭和54年の改正によって保護行政の充実と強化をはかった。現在、19件1838点の文化財を市指定文化財として保護するとともに、他の文化財については文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行った。

文化財、自然の保護は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであることから、意識の高揚と文化財を活用するための様々な学習の機会の設定に取り組み、実施した。今後、益々進行すると思われる地域の都市化、及び生活様式の変化にともなう文化財の消失、等に対処するため、文化財総合調査を早急に実施し、重要なものを市指定文化財として保護するとともに、資料の収集と保存をあわせて実施した。

文化財保護事業

- ① 市内の貴重な文化遺産を市文化財指定して保護する。
- ② 文化財総合調査の実施により所在の確認と記録の作成を行う。
- ③ 調査の成果は、報告書等によって公表し、市民の学習、研究活動等に活用する。
- ④ 市民の文化財、自然に対する学習の機会を保障する。
- ⑤ 市民の文化財、自然に対する保護、活用等の活動に対し、奨励、援助、指導等を行う。
- ⑥ 破壊、消失されつつある文化財を収集し保存する。
- ⑦ 郷土資料室において、文化財、自然の保護、保存、活用等のための普及事業を実施する。
- ⑧ 行政事務担当における事務等の整備、確立をはかる。

郷土資料室の事業

市立中央図書館内郷土資料室で文化財、自然の保護と活用を目的とした次の事業を行った。

- ① 資料の収集
- ② 資料の整理・保管
- ③ 資料の調査・研究
- ④ 資料の展示・教育普及

文化財保護事業の実施状況

① 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 民具調査

郷土資料室で収蔵している民具の調査を主として行っているが、当年度においては桶造りの諸道具を中心に調査をすすめた。

- ・調査員 田野倉紀子（日本民俗学会会員）、岡部悦子（郷土資料室臨時職員）、井口炎（法政大学）、峰岸秀雄（福生市市史編纂調査員）

(イ) 森田文庫調査

森田文庫調査は、昭和59年度より三年計画で調査を実施し、61年度に終了した。調査の結果は翌62年度に文化財総合調査報告書第20集『森田文庫資料目録』として刊行したが、調査後、まだ未調査の資料があることが判明したため、第二次調査として昭和63年度より実施した調査である。当年度行った調査は、和書類の目録作成である。

- ・調査員 安田吉人（成城大学）

(ウ) 古文書調査

古文書調査は、既に『福生市文書目録Ⅰ』（総合調査報告書第4集）を昭和50年度『福生市文書目録Ⅱ』（総合調査報告書第18集）を昭和59年度に刊行しており、いわゆる文献史料調査は大体において終了している。当年度は、郷土資料室へ寄贈された断片的な文献資料等の調査を行った。

(エ) 植物調査

市内に現存する植物種を確認し、福生市における植物相を明らかにすることを目的に昭和49年度から実施している調査である。すでに樹木・竹類・シダ・コケ類については調査が終了し、昭和63年度からはキノコ類の調査を行っている。今年度は野外での調査は実施せず、資料の整理を行った。

- ・調査主任 宮岡一雄（市文化財保護審議会委員、明治大学教授）
- ・調査員 遠藤宇一郎、鈴木和子、津田美弥子

(オ) 動物調査（昆虫調査）

市内に現存する昆虫種を確認し、福生市における昆虫相およびその分布を明らかにすることを目的として、昭和61年度より実施した調査である。但し、初年度は本調査開始にあたっての準備期間としたため、実質的な調査は昭和62年度から開始した。平成元年度の調査回数は4月15日から11月18日までの間に12回実施した。なお、平成元年度は調査最終年度に

あたり、以後は市内生息昆虫の目録作成を行う予定である。

- ・主任調査員 栗原仁（市内小学校教諭）
- ・調査員 遠藤宇一郎、大村信一、鈴木和子、津田美弥子

(ウ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

A 13号遺跡

埋蔵文化財包蔵地、13号遺跡内での土木工事（分譲住宅）に伴う確認調査を実施した。

- ・確認調査地番 福生市大字熊川1344-1
- ・開発面積 516.31㎡
- ・確認調査期間 平成元年6月2日より6月11日まで
- ・発掘担当者 和田 哲（立川女子高校教諭）
- ・調査補佐員 福生市シルバー事業団

② 調査報告書の刊行

文化財総合調査報告書第22集『福生市のシダ類—福生市植物調査第四次報告』の発行。

昭和59年度より60年度まで実施したシダ類調査の結果をまとめたものである。市内全域の
悉皆調査及び特定調査区の重点調査を行い、悉皆調査によって47種の市内生息種を確認した。
また、重点調査によって細かな生息環境と各種シダ類の分布状況の関係を明らかにした。発行部
数は1000部である。

③ 郷土資料室の運営事業

(ア) 資料の収集

市広報紙（郷土資料室だより）による協力の呼び掛け等によって民俗資料等の収集を行った。

A 収蔵件数（寄贈、採集、購入等）

- ・民俗資料 194
- ・文芸資料 101

(イ) 資料の保管

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）の薰蒸消毒を行った。実施期間は平成2年3月1日より
3月4日までの間、業者委託による。消毒の概要は次のとおりである。

場 所 郷土資料室第1収蔵庫（320㎡）、第2収蔵庫（92㎡）

対象資料 民俗、歴史、美術、自然資料

方 法 エキボン（酸化エチレン１４パーセント、臭化メチル８６パーセント）によるガス化薫蒸消毒　くん蒸消毒時間　４８時間

目 的 殺虫、殺菌、殺卵

消毒効果 終了後の財団法人文化財虫害研究所による薫蒸処理効果判定の結果は殺虫、殺卵、殺カビ効果は１００パーセントであった。

(ウ) 展示、講座等、教育普及事業

A 特別企画展示

“描かれた江戸時代の村ー牛浜出水図と福生村、熊川村絵図”

期間 平成２年２月１日～３月３０日

江戸時代の村の様子、特に庶民のくらしぶりについては、文献史料のみではなかなか理解することが難しい。そこでこの特別展示では、絵巻、村絵図、等を２７点展示し、江戸時代の村の様相を視覚的に理解していただくことを目的に企画した。

展示資料 (1) 「牛浜出水図」（市指定有形文化財）（近世）

(2) 「御料私領入合見合絵図」（享保１９年）

(3) 「拜島熊川高月小川草花五か村芝地見分絵図」（宝暦１２年）

(4) 「熊川村絵図」（天明８年）

(5) 「熊川村地先河原境界絵図」（文化年中）

(6) 「玉川通川除普請場絵図」（文政５年）

(7) 「熊川村絵図」（天保７年）

(8) 「玉川御上水路控」（天保１３年）

(9) 「熊川村下草花村地境取極分間絵図」（嘉永７年）

(10) 「熊川村絵図」（明治２年）

(11) 「品川県第十一番組絵図」（明治４年）

(12) 「福生村熊川村近隣村々道法等絵図」（近世）

(13) 「熊川村絵図」（近世）

(14) 「熊川村絵図」（近世）

(15) 「熊川村絵図」（近世）

(16) 「熊川村真福寺崖下水車位置図」（近世）

(17) 「熊川村河原絵図」（明治期）

(18) 「第一回ペリー艦隊来航時江戸湾岸情況絵図」（近世）

- (19) 「福生村熊川村全図」(近世)
- (20) 「福生町全図」(昭和33年)
- (21) 『武蔵野話』(文化12年)
- (22) 「オルテリウス日本図」(1559年)
- (23) 「オイルテリウス中国図」(1584年)
- (24) 「ド・ウィットだったん及中国図」(1676年)
- (25) 「クローエ世界図」(1787年)
- (26) 「牛浜出水図集落復元模型」
- (27) 「調布玉川惣画図(複製)」

B 特別展示

- a “東京産の蝶展” 期間 平成元年7月25日～8月31日

例年にしたが、夏休み期間中の小・中学生向け展示として企画した。展示資料は東京(伊豆・小笠原諸島を除く)で見られる蝶約85種および参考として台湾産の蝶約20種の標本である。なお、展示資料のうち東京産の蝶標本については、文化財総合調査昆虫班メンバーの大村信・栗原仁両氏より借用した。

- b “ボタニカルアート展-2” 期間 平成元年6月1日～6月29日

前年度の企画展であったボタニカルアート展が好評であったため、その第二弾として企画した展示である。展示内容は福生市内で夏に見られる野草のボタニカルアート34点の資料に各植物の市内で生息状況および生態の解説を加え、年々姿を消していく市内の野草の実態を紹介することに力点を置いた。なお、展示資料は市内ボタニカルアートサークル「SASAの会」より提供を受けた。

- c “ボタニカルアート展-3” 期間 平成2年1月5日～1月29日

前回、前々回に続くボタニカルアート展のシリーズ第三弾。今回は市内で見られる秋の野草を特集し、前回と同様の展示方法をとった。また、参考展示として秋の七草をボタニカルアートで紹介するとともに、万葉集と七草、ひいては万葉人と野草の関わり等を紹介した。なお、展示資料は前回に続き「SASAの会」の提供である。

- d “芭蕉と奥の細道展” 期間 平成元年10月4日～11月29日

芭蕉が、奥の細道に旅立ってちょうど三百年にあたることから、当郷土資料室の収蔵する主要なコレクション森田文庫旧蔵資料のなかから芭蕉と奥の細道にかかわる資料を展示した。

- e “ネイチャーフォト展” 期間 平成元年 12 月 1 日～12 月 27 日

植物や昆虫を主な被写体とした自然写真約 50 点を展示した。これらの展示資料は平成元年度事業「ネイチャーフォト講座」受講者有志による自主サークル「オケラ野会」から借用した。また、参考出展として同サークル指導者の自然写真家宮城六郎氏の作品 5 点を展示した。

C 常設展示

- “福生の成り立ちと人々の歩み” 期間 平成元年 4 月 1 日～平成 2 年 3 月 30 日

昭和 54 年 4 月の開館以来、常設展示のテーマは“福生の成り立ちと人々の歩み”である。この展示主題のもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成している。各分野のテーマは、歴史が“福生の成り立ちと歴史を学ぼう”、民俗分野が“福生の民俗とくらしを学ぼう”、自然分野が“多摩川の自然を学ぼう”である。常設展示は小・中学生を対象にしており、展示スペースが大テーマに比して狭少であることから、各分野の展示テーマは“……学ぼう”“……さぐろう”“……観察しよう”といった問題設定の形式を取り、観覧者の関心を呼び起こすことをねらいとしている。

D 講座、学習会

- a 古文書学習会（初心者） 期間 前期 5 月 12 日～6 月 9 日まで（全 5 回）
後期 9 月 27 日～10 月 17 日まで（全 4 回）

例年行っている学習会であるが、今回は、19 世紀の日本、とりわけ幕末の混乱期の村の様子、特に異国船渡来時の村及び村人の対外認識を学習することとした。

・指 導 福生古文書研究会

- b 古文書学習会（上級者） 期間 4 月 21 日～3 月 15 日まで（全 11 回）

初心者古文書学習会に参加して終了後さらに学習を希望する方たちで行っている学習会である。今回は、手紙を読解史料として用い、私文書読解の学習を行った。

・指 導 福生古文書研究会

- c 植物画講座・初心者（婦人セミナー） 期間 8 月 26 日～9 月 25 日まで（全 5 回）

植物画を描くことをとおして自然観察の眼を養うことを目的に、婦人を対象として実施した。実施日時は期間中の毎木曜日午前十時から正午まで。本来ならば趣旨にそって屋外で野草を描くべきではあるが、初心者が対象であることから基礎技術の習得に専念すべく、全回を通して屋内で切り花を教材に用いて実施した。

・講 師 佐藤廣喜氏（植物画家 日本ボタニカルアート協会委員）

- e 史跡散歩(石仏めぐり) 期日 6月25日・10月8日

石仏を中心とした市内の史跡見学を熊川地区と福生地区に分けて2回実施した。

・講師 立川愛雄氏(市文化財保護審議会委員)

- f 第2回・ネイチャーフォト講座 期間 8月6日～10月15日まで(全5回)

自然写真を撮影することにより自然観察の眼を養うことを目的に、成人を対象に実施した。講義内容は、前半に機材の扱い方や基礎的な技術論、後半は野外に出て実践指導を受けた。

・講師 宮城六郎氏(自然写真家)

- g 夏休み子供学習会「恐竜の秘密をさぐろう」 期日 7月28日 見学会 8月3日

子供たちに人気の高い古生物「恐竜」について生態や分類等を学習することを通して、それらのみならず中生代の地球の様子なども広く学習することを目的とした。パネルやスライド等を使って学習会を行い初歩的な知識を得た後、群馬県中里村にある恐竜の足跡の化石および恐竜センターを見学した。

・講師 津田美弥子(郷土資料室臨時職員)

- h 民俗学講座(婦人セミナー) ～民具の技と美を考える～

期間 2月22日～3月8日(全3回)

多摩地域の伝統的な生活文化、民俗の特徴を民具のなかからさぐることを目的に実施した。

・講師 工藤員功氏(武蔵野美術大学民俗資料室)

佐藤 広氏(八王子市郷土資料館学芸員)

畠山 豊氏(町田市立博物館学芸員)

- i 郷土史学習会 ～幕末混乱期における村人の時局認識と動向～ 期日 6月9日

幕末期、開国をせまられた日本、特に政治の中心地である江戸の地回りに位置する多摩地域は、対外問題に関心を寄せる村人も少なくなかった。柴崎村(現、立川市)の名主鈴木平九郎は貴重な日記をのこしているが、この日記のなかから平九郎の時局認識を抽出し、すぐれた分析を行った倉員氏に講師をお願いし、学習会を実施した。

・講師 倉員保海(八王子市文化財保護審議会)

E 出版物

- a 特別企画解説資料 「多摩の日記」

F 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者等への情報の提供や印刷援助等を行った。

文化財保護審議会

文化財保護審議会は、福生市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために8人の委員が委嘱されています。

会議の開催

平成元年7月22日	会長、副会長の選出 天然記念物の指定について
平成2年2月10日	天然記念物の指定について

研修の実施

平成元年8月30日～31日
山梨県内の史跡及び博物館等の見学

6. 青少年問題協議会

青少年問題協議会は市長の附属機関であり、青少年健全育成に関する総合的施策の樹立について調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を図り、関係行政機関に意見を求めるための組織です。

1(1) 平成元年度のうごき

開催月	会議名	会議内容
平成元年4月	地区委員長会 理事会	地委員長会視察研修について
5月	地区委員長会	役員選出について 補助金の交付申請について 子供会の安全保険について
	地区委員長会	行政視察（東海大学社会教育センター）
7月	地区委員長会 理事会	昭和63年度青少年問題対策事業のまとめについて 平成元年度青少年対策について 一声運動について
	青少年問題協議会幹事会	善行青少年の表彰について
	地区委員長会	善行青少年の表彰について
8月	青少年問題協議会	善行青少年の表彰について
10月	地区委員長会 理事会	スポーツ大会実施について
	地区委員長会	講演会実施について 「家庭の日」推進について
11月	地区委員長会	スポーツ大会（ハイキング）実施
平成2年1月	地区委員長会 理事会	青少年問題講演会について
	青少年問題協議会幹事会	善行青少年の表彰について 平成2年度事業計画案について
平成2年2月	地区委員長会	青少年問題講演会の実施について
	青少年問題協議会	善行青少年の表彰について 施設見学（八王子少年院 外）
3月	地区委員長会	講演会 「子育てと家庭の役割」 講師 竹江 孝氏

(2) 平成元年度青少年対策事業

① 社会教育課、体育館

- ・家庭の日推進事業（毎月第3日曜日）
- ・一声運動（夏休み期間）
- ・青少年の社会参加活動推進事業
- ・青少協だより発行（5月、8月、12月、3月）
- ・青少年問題講演会（2月25日 講師 竹江 孝）
- ・地区委員長会視察研修（5月29日 東海大学 社会教育センター）
- ・家庭の日図画、作文募集（夏休み期間 図画 202点）
- ・善行青少年の表彰（市立第3中学校 合唱ボランティアクラブ）

（市立第5小学校 児童会）

- ・子供自然観察会（8月23日 富士山 参加者 40名）
- ・各種運動（家庭の日、一声運動）のチラシ配布
- ・水泳教室（女性、小中学生、身障者） 延210名
- ・テニス教室（23回） 延754名
- ・カヌー教室（8） 74名
- ・小学生バレーボール、バドミントン教室
- ・幼児体操教室

② 市民会館 公民館

- | | | |
|------------|-----|------|
| ・子供サバイバル教室 | 8回 | 105名 |
| ・たんけん教室 | 27回 | 353名 |
| ・子供将棋教室 | 10回 | 110名 |
| ・婦人家庭教室学級 | 8回 | 272名 |
| ・自然観察会 | 9回 | 203名 |

③ 図書館

- ・夏休み子供図書館
- ・映画会

(3) 地域活動への援助

① 補助金

・地区委員長会への補助金	33地区	1,980,000円
・青少年の社会参加	33	99,000円

② その他の援助

- ・事務的援助（コピー、印刷）
- ・各種大会等の開催援助（野球用具、レクリエーション／備品等の貸出しや会場の確保）
- ・講演会、研修会等の開催援助（講師の紹介、会場の確保）

平成元年度青少年問題地区委員会実績

地区名	委員数	児童・生徒数	地区活動の主なもの	委員会開催数	活動数	計	参加延人数	事業費	補助金	その他
熊川住宅	6人	200人	ラジオ体操、芋堀り大会、もちつき大会他	回 3	回 3	回 6	人 987	円 94,101	円 62,100	円 32,001
南	15	84	非行化防止パトロール、もちつき大会他	3	7	11	403	158,634	43,480	115,154
内出	11	175	ラジオ体操、歩け歩け大会他	4	5	9	980	127,000	58,090	68,910
武蔵野	27	140	バーベキュー大会、もちつき大会他	6	11	17	596	136,200	52,470	83,730
福東	12	346	非行化防止パトロール、ソフトボール大会他	5	9	14	1,012	85,540	85,540	0
南田園1丁目	25	176	納涼盆踊り大会、草花の植栽他	4	11	15	1,393	177,160	58,250	118,910
鍋1	20	318	ピーナツ堀大会、ラジオ体操他	8	7	15	437	84,053	81,040	3,013
鍋2	18	403	町内パトロール、バーベキュー大会他	10	27	37	2,589	383,685	94,680	289,005
玉川台	12	28	ラジオ体操、夏祭り他	10	7	17	485	43,000	34,490	8,510

地 区 名	委員数	児童・ 生徒数	地区活動の主なもの	委員 会開 催数	活動数	計	参 加 延人数	事 業 費	補 助 金	そ の 他
富 士 見 台	6 ^人	20 ^人	ラジオ体操、ボーリング大会他	4 ^回	10 ^回	14 ^回	235 ^人	92,200 ^円	33,210 ^円	58,990 ^円
福 栄	13	92	ラジオ体操、夏祭り他	4	11	15	1,190	72,100	44,770	27,330
熊 牛	24	321	もちつき大会、キャンプ他	5	7	12	985	539,520	81,520	458,000
南田園3丁目	30	136	夏祭り、どんど焼他	4	5	9	574	109,898	51,830	58,068
牛 1	21	135	球技大会、やきいも大会他	5	7	12	653	141,735	51,670	90,065
牛 2	19	237	ラジオ体操、川あそび大会他	5	12	17	2,120	200,520	68,040	132,480
原ヶ谷戸	21	403	高尾山ハイキング大会、もちつき大会他	14	12	26	1,548	300,806	94,680	206,126
志 茂 1	33	240	ゲーム大会、どんど焼他	5	15	20	1,256	101,183	68,520	32,663
志 茂 2	27	192	もちつき大会、映画会他	6	14	20	1,300	965,500	60,820	904,680
本 町 1	11	32	親子ハイキング、いも堀り大会他	4	7	11	432	215,491	35,140	180,351

地区名	委員数	児童・生徒数	地区活動の主なもの	委員会開催数	活動数	計	参加 延人数	事業費	補助金	その他
本 町 2	20 ^人	42 ^人	ラジオ体操、川あそび大会他	5 ^回	12 ^回	17 ^回	240 ^人	177,800 ^円	36,740 ^円	141,060 ^円
本 町 3	14	42	親子運動会、ふるさと遊び他	5	6	11	310	153,480	36,740	116,740
中 央	14	27	球技大会、ラジオ体操他	6	7	13	520	179,330	34,330	145,000
本 町 6	24	58	川遊び、もちつき大会他	5	7	12	715	417,552	39,310	378,242
本 町 7	15	275	盆踊り大会、キャンプ大会他	5	7	12	733	126,300	74,140	52,160
本町8第1	24	388	ラジオ体操、もちつき大会他	10	16	26	1,788	551,372	92,280	459,092
本町8第2	26	269	ラジオ体操、どんと焼他	8	10	18	1,640	558,180	73,180	485,000
武蔵野台 1 丁目	9	314	もちつき大会 ハイキング大会他	4	8	12	720	215,900	80,400	135,500
加美平住宅	13	378	ラジオ体操、もちつき大会他	5	4	9	1,250	1,290,670	90,670	1,200,000
永 田	6	115	ラジオ体操、もちつき大会他	5	14	19	303	189,000	48,460	140,540

地 区 名	委員数	児童・ 生徒数	地区活動の主なもの	委員 会開 催数	活動数	計	参 加 延人数	事 業 費	補 助 金	そ の 他
長 沢 1	22 ^人	85 ^人	キャンプ大会、親子運動会他	3 ^回	9 ^回	11 ^回	952 ^人	242,000 ^円	43,640 ^円	198,360 ^円
長 沢 2	17	62	親子運動会、キャンプ大会他	3	9	11	952	24,200	39,950	202,050
加 美 1	15	65	ラジオ体操、納涼会他	5	8	13	2,240	157,850	40,430	117,420
加 美 2	25	370	ラジオ体操、ハイキング大会他	5	10	15	2,900	106,000	89,390	16,610
合 計	595	6,168		183	314	496	34,438	8,635,760	1,980,000	6,655,760

7. 集会施設の申請状況

扶桑会館申請状況

区分		月数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	申請件数		26	34	34	29	25	26	28	24	20	28	28	34	336
	人数		1,208	1,264	1,370	986	634	613	632	676	448	584	788	1,003	10,206
和室	申請件数		17	16	15	23	20	22	27	18	12	21	25	17	233
	人数		423	358	280	500	275	228	230	179	220	205	425	207	3,530
小会議室	申請件数		18	16	16	10	14	18	16	20	4	19	21	15	187
	人数		193	181	186	120	133	187	157	196	35	182	333	128	2,031
合計	申請件数		61	66	65	62	59	66	71	62	36	68	74	66	756
	人数		1,824	1,803	1,836	1,606	1,042	1,028	1,019	1,051	703	971	1,546	1,338	15,767
使用料	件数		18	16	17	14	21	22	24	15	9	16	18	11	201
	金額		22,500	19,100	20,500	14,500	24,900	22,700	21,700	19,200	8,700	17,700	28,800	14,200	234,500

月平均 63件 1,313人

か え で 会 館 申 請 状 況

月別 区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
集 会 室	申 請 件 数	42	51	31	40	34	42	36	39	22	31	36	35	439
	人 数	700	907	568	892	644	755	725	717	341	576	555	680	8,060
和 室	申 請 件 数	23	29	32	25	33	37	39	32	14	37	26	34	361
	人 数	310	462	145	410	389	572	538	397	220	540	392	480	5,355
小 会 議 室	申 請 件 数	3	4	9	22	13	13	11	11	5	7	11	12	121
	人 数	24	33	98	442	250	284	160	291	70	155	116	166	2,089
合	申 請 件 数	68	84	72	87	80	92	86	82	41	75	73	81	921
	人 数	1,034	1,402	1,311	1,744	1,283	1,611	1,423	1,405	631	1,271	1,063	1,326	15,504
計	使 用 件 数	27	49	23	29	37	40	41	33	18	30	31	39	397
	料 金 額	19,200	39,300	17,400	26,400	30,600	38,700	31,200	30,300	15,900	24,900	20,700	31,200	325,800

月平均 76件 1,292人